

太枠内 をご記入ください。

種類別明細書(増減資産・全資産用)

令和 8 年度

※年号は、昭和→3 平成→4 令和→5

※行政区	世帯番号	所有者コード	※	所 有 者 氏 名										1枚のうち		
				株式会社 税務印刷										1枚 目		
行 番 号	資 産 の 種 類	資 産 コ ー ド	資 産 の 名 称 等	数 量	取 得 年 月 日			(イ) 取 得 価 額	耐 用 年 数	減 価 残 存 率 (ロ)	(ハ) 価 額	課税標準 の特 例		課税標準額	異 動 事 由	摘 要
					年 号	年	月					率	コード			
01	1		駐車場アスファルト舗装	1	4	6	8	2,500,000	10						1・2 3・4	
02	1		受変電設備	1	4	11	6	2,000,000	15						1・2 3・4	
03	2		印刷機	1	4	11	8	2,000,000	4						1・2 3・4	
04	2		製本業用設備	1	4	12	8	1,500,000	7						1・2 3・4	
05	5		フォークリフト	1	4	11	6	1,000,000	4						1・2 3・4	
06	6		応接セット	1	4	13	4	800,000	8						1・2 3・4	修正
07	6		コピー機	1	4	13	5	450,000	5						1・2 3・4	修正
08	6		ファクシミリ	1	4	13	8	30,000	5						1・2 3・4	減少
09	6		パソコン	1	5	7	3	300,000	4						① 2 3・4	増加
10															1・2 3・4	
11															1・2 3・4	
12															1・2 3・4	
13															1・2 3・4	
14															1・2 3・4	
15															1・2 3・4	
16															1・2 3・4	
17															1・2 3・4	
18															1・2 3・4	
小 計																

資産の種類
以下の種類に対応する、1～6
までの数字を記入してください。

1. 「構築物」
2. 「機械及び装置」
3. 「船舶」
4. 「航空機」
5. 「車両及び運搬具」
6. 「工具、器具及び備品」

取得価額は、資産を取得するために要
した金額です。
なお、圧縮記帳は固定資産税上認めら
れませんが、圧縮前の取得価額を記入
してください。

耐用年数
「減価償却資産の耐用年数等に関する省
令」に基づいて記入してください。短縮
耐用年数及び中古資産の見積もり耐用年
数を使用している場合は、その耐用年数
を記入してください。

資産の増加
増加した資産がある場合は、資産
の名称等を記入のうえ、該当する番
号を○で囲んでください。

増加事由
1. 新品取得
2. 中古品取得
3. 移動による受け入れ
4. その他

資産の減少・修正
資産が減少した場合は線で消し、摘要欄に
「減少」と記入してください。
一部減少の場合は修正箇所を線で消し、変
更後の数量、取得価額を記入し、摘要欄に
「修正」と記入してください。
資産の名称等や取得年月などを修正する場
合も同じように修正してください。

注意 「異動事由」の欄は、1 新品取得、2 中古品取得、3 移動による受け入れ、4 その他 のいずれかに○を付けてください。